



上杉 隆信

わが昭和36年卒は、全体での同期会もあるが、関東支部に所属する「SC36会」や、ゴルフの愛好会もある。そして、当時2年生26HRで結成した「剛健新酒の会」という同級会がある。最終学年ではなく2年生のクラスメートであるところがユニークである。メンバーが、異彩を放つものが多い。同窓会、同期会を引っ張っている者も多い。

20年以上前に発足し「大人の修学旅行」「大人の遠足」と称して一泊旅行をしてきた。今回、52年ぶりの26ホームルームということで、焼津のホテル三景園に18名が集合した。恩師奥川先生は都合で欠席したが、激励メッセージが届いており、幹事が代読した。さらに当時のクラスでの話題を綴った「下村日記」が披露された。当時は回顧しながら、剛健進取ならぬ剛健新酒に酔いしれた。



秋山 卓男

平成24年9月17日、静岡市で行われた昭和35年卒の同期会に約40年ぶりに出席した。会場は静岡グランドホテル中島屋である。卒業生37人中出席者は53人であった。いたいた、懐かしい顔、顔、顔である。中にはひげを生やして全くわからない顔があったが、名前を見たら面影があった。杉山好男君であった。出席した皆さんと旧交をあたためることができた。

びつくりしたのは、今回えるかなと期待していた人の名前を物故者のリストに見出した時である。物故者はリストによると45名であった。そのうち1名は当日計報がもたらされた。府川勝君であった。1年生の時クラスが一緒であった小倉敬三君、2年生の時席が隣で、親しくしていた栗山隆君、もうこの世の人ではなかった。静岡での彼らと語らったシーンが鮮明に思い出され、寂寥感がつのってくる。年を経るほど、同期会とは、お互いに生きている者同士が生きていることを喜びあう会合になっていく。また、この世からはや去っていった者を偲ぶ会でもある。悲喜こもごもの複雑な心境を味わった会合であった。



小長井 武夫

同期会兼新年会は、1月12日(土)に東京日比谷の同窓生田邊さん経営の「シーボニア・メンズクラブ」で行われました。

東京辰巳会の登録メンバーは総勢48名ですが、今回は20名の72歳の面々が集合しました。3年前は半数以上の方が集まりましたが、今回もまずまずの出席率と思います。まず、鬼籍に入られた同期59名の皆さんに黙祷をささげ、会の開催になりました。

辰巳会会員は昨年(辰)と今年(巳)6度目の干支年を迎えたのですが、これまでを振り返ってみますと、生まれ年の1940年・41年は太平洋戦争勃発、その12年後1952年にサンフランシスコ平和条約発効により主権回復、その12年後1964年に東京オリンピック開催、またその12年後1976年は財政界を揺るがしたロッキード事件発覚などと節々で大きな出来事がありました。その後は高度成長時代になりそれぞれが企業戦士あるいは支える主婦として生きてきた共有の価値観があります。そんな仲間たちが集まれば高校時代の話、花を咲かせるのですが、趣味・孫の話等々楽しい話に加えて、老々介護や自らの老いへの対応など一寸寂しい話も出てくるような年齢にもなりました。でもそれなりに楽しく話し、楽しく呑んで過ごした2時間半でした。M女史の音頭で中締めにより、来年も再来年も元気で再会することを誓って閉会になりました。



服部 勤

出席したみなさんお疲れ様でした。そして、今回は出席できなかった方には来年は是非お会いしましょう。

平成二十五年一月二十五日(金)に港区元赤坂の青山荘で関東五十六会の新年会が開催され十名が出席しました。前回の一昨年の十二月の忘年会では十五名でしたが今回は出席者が大分減りました。色々の事情がありましようがやはり年齢的に健康問題だろうかと思えます。出席者は全員元気で澁刺としておりました。会は昨年まで永きにわたり関東支部長を務められた海野氏に感謝の意を述べて始まりました。



静商同窓会は、各年次の「同期会」が原点になっている。同期会の輪を広げることが、同窓会の活動の活性化につながる。今回、今まで最高の12の同期会から寄稿があった。



ンクールで優勝、珠算部の女子部員が全国珠算競技大会読上算の部で一位、軟式野球部が全国優勝、二十九年夏の選手権大会で野球部が準優勝等と静岡在学生会ということで鼻高々であった。

又同期には東大、慶大卒業生、母校静岡の校長経験者、プロ野球で活躍された有名選手、医学博士、銀行や証券会社で支店長をやった方々等、大変立派な経歴の持主が多数いることが分かった。自分自身の事のように誇らしく嬉しく思いました。楽しい話し合いをしていると時間の過ぎるのも早くあつという間という感じで閉会となりました。

一次会だけでは物足りず二次会ではカラオケをやった。普段では出来ない大声で歌って皆で楽しい一日を過ごしました。

昨年度は、七十七歳の喜寿を迎えた目出度い年になりました。気持ちの上ではまだ若いつもりでいても、昨今は身体も頭も思うに任せないことが、まあある年代になりました。

さて、毎年支部総会に出席するメンバーを対象に、より親交を深め、高校時代を懐かしむ機会を持ちたいと、年1~2回開催しています。昨年は、十月に銀座桜並木通りの「権八」で、男女合わせて8名が参加して実施しました。予定より4名が都合で不参加は残念でしたが「元氣なうちに、気軽に会おう」ということで、今年も開催予定です。これからも、健康で楽しく、元氣な顔で参加できるようにしたいと思います。



川村 通裕